

まどかぜシリーズ・住宅用《手動式》シンプルオーニング

まどかぜ ■ エントリー

テクニカル・マニュアル

目次

1 基本構成

1-1	主要部材名称	1 ページ
1-2	断面納まり図	1 ページ
1-3	平面納まり図	1 ページ
1-4	ベースプレート納まり図	2 ページ

3-11	アーム角度の調整	7 ページ
3-12	アーム位置の確認と調整	8 ページ
3-13	上ケースの取付け	8 ページ
3-14	側板の取付けとコーキング	8 ページ

2 製品仕様

2-1	出巾と勾配の関係	2 ページ
2-2	規格別重量表	2 ページ
2-3	取付け時の注意	2 ページ

4 本体の組立て

4-1	巻取パイプの組込み	9 ページ
4-2	キャンバスの縫製	9 ページ
4-3	キャンバスの組込み	10 ページ

3 本体の取付け

3-1	取付けの準備	4 ページ
3-2	ベースプレートの取付け	4 ページ
3-3	上ケースホルダーの取付け	4 ページ
3-4	サイドブラケットの取付け（Fサイド）	5 ページ
3-5	巻取パイプの取付け	5 ページ
3-6	手動ギアの取付け	5 ページ
3-7	サイドブラケットの取付け（Dサイド）	5 ページ
3-8	キャンバスの組込み	5 ページ
3-9	アームの取付け	6 ページ
3-10	前枠の取付け	7 ページ

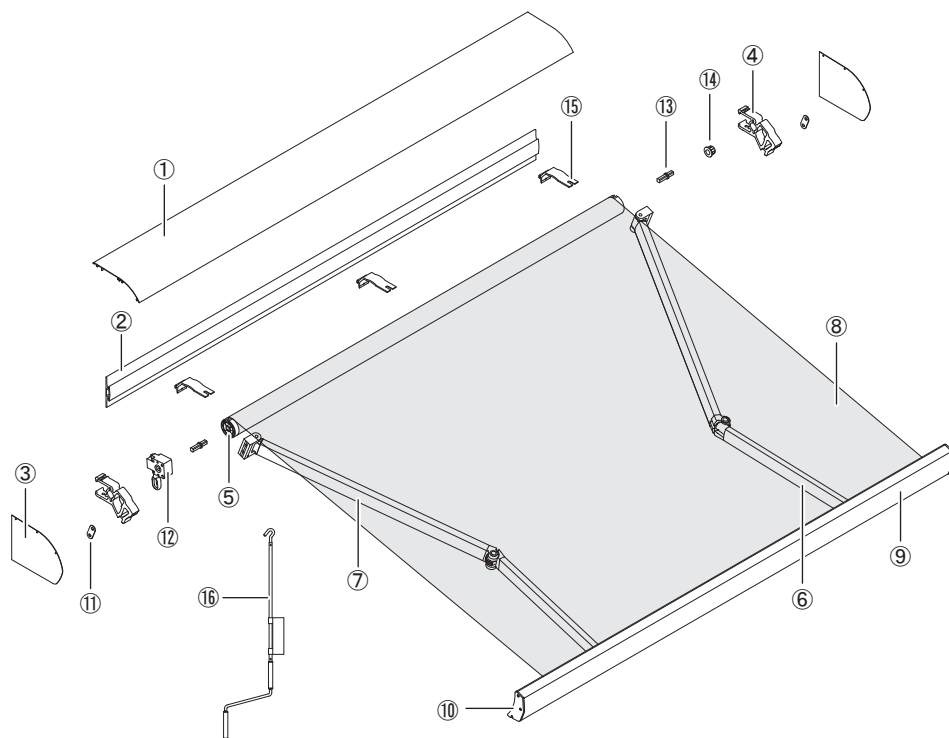
5 確認事項

5-1	点検	11 ページ
-----	----	--------

警告

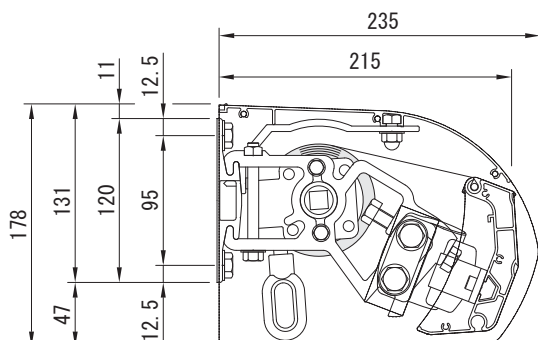
- この施工手順書をお読みいただき、ご理解いただいた上で取付け工事を行って下さい。
- この施工手順書は、取付け工事中でのご不明な点やメンテナンスにより製品の構造をご確認いただく上で重要となりますので、いつでも調べられるよう大切に保管して下さい。

1-1 主要部材名称



No	名称
1	上ケース
2	ベースプレート
3	ケース側板
4	サイドブラケット
5	巻取パイプ
6	アーム (右)
7	アーム (左)
8	キャンバス
9	前枠
10	前枠キャップ
11	アームホルダープレート
12	手動ギア
13	FD軸首
14	軸受
15	上ケースホルダー
16	クランクハンドル

1-2 断面納まり図



最小間口表

出巾	間口 (W)
15	2000 mm
20	2500 mm

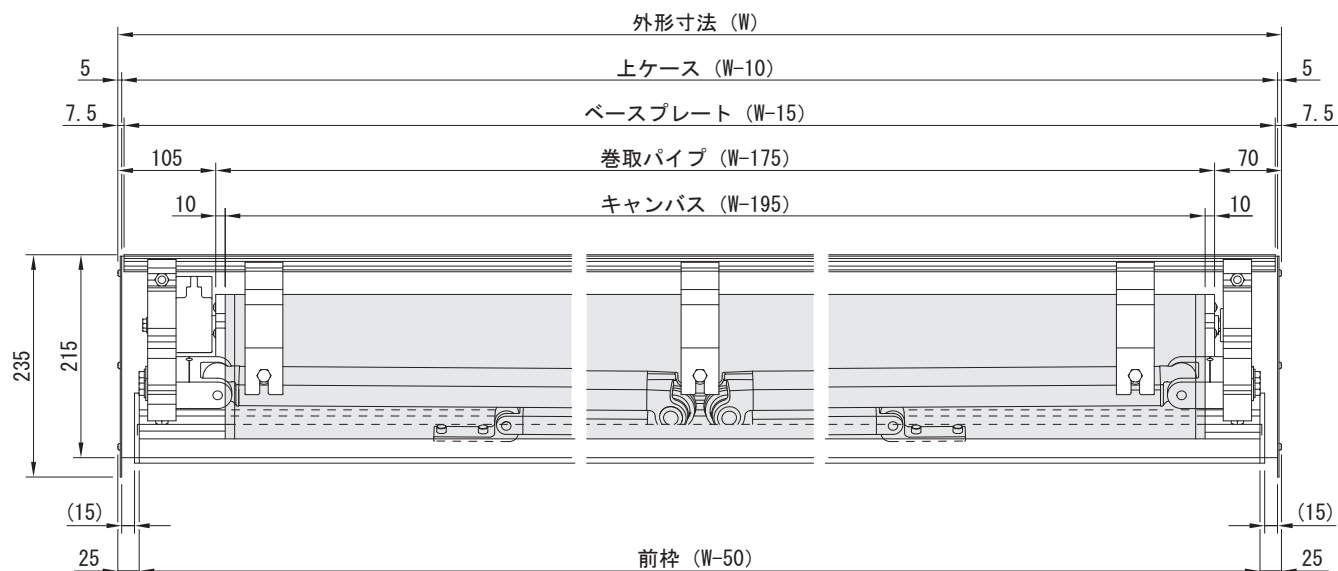
[注意]

※ベースプレートは製品の重量及び使用に耐えられる構造体に直接取り付けて下さい。

※ベースプレートは平らな面に取り付けて下さい。凹凸面に取り付けるとベースプレートの変形、取り付け面の変形により事故の原因となります。

●本図はキャンバス角度 15° での納まりです。キャンバス角度によって、前枠の納まり位置は変化します。

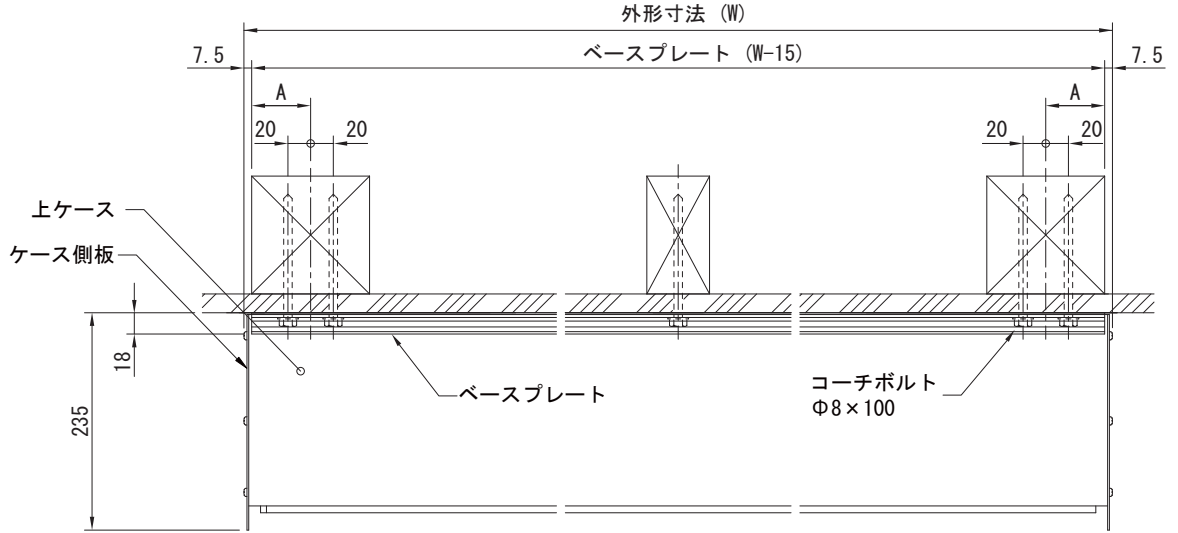
1-3 平面納まり図



●外形寸法 (W) は側板を固定するネジ頭外々の寸法です。

1-4 ベースプレート納まり図

A寸法は 45 ～ 95mm の範囲で設定して下さい。
 ※外形寸法 (W) は側板を固定するネジ頭外々の寸法です。
 ※間口規格が 3000mm を超える場合は、中央に締結部品を追加して下さい。

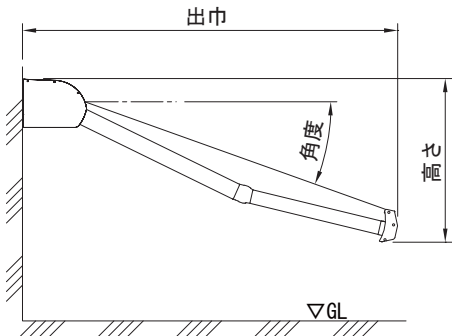


2

製品仕様

2-1 出巾と勾配の関係

15° を標準角度とし、25° までは調整の範囲になります。
 ※張り出し時の数値は参考値ですので、設置時の目安としてご使用下さい。
 ※躯体取付面の傾斜、製品個体差、キャンバスの重み等の状況によっては、キャンバス角度が設定通りにならない場合もあります。



勾配寸法表

角度	1.5m		2.0m	
	出巾	高さ	出巾	高さ
15°	1,480	520	1,950	646
20°	1,444	637	1,902	804
25°	1,397	751	1,838	956

(単位：mm)

2-2 規格別重量表

※下記重量はキャンバス重量、
 440g/㎡時で算出したものです。

規格別重量表

間口規格	アーム規格	
	1.5m	2.0m
2,000mm	25.6	—
2,500mm	29.9	31.4
3,000mm	34.0	35.6
3,500mm	38.2	40.0
4,000mm	42.4	44.2

(単位：kg)

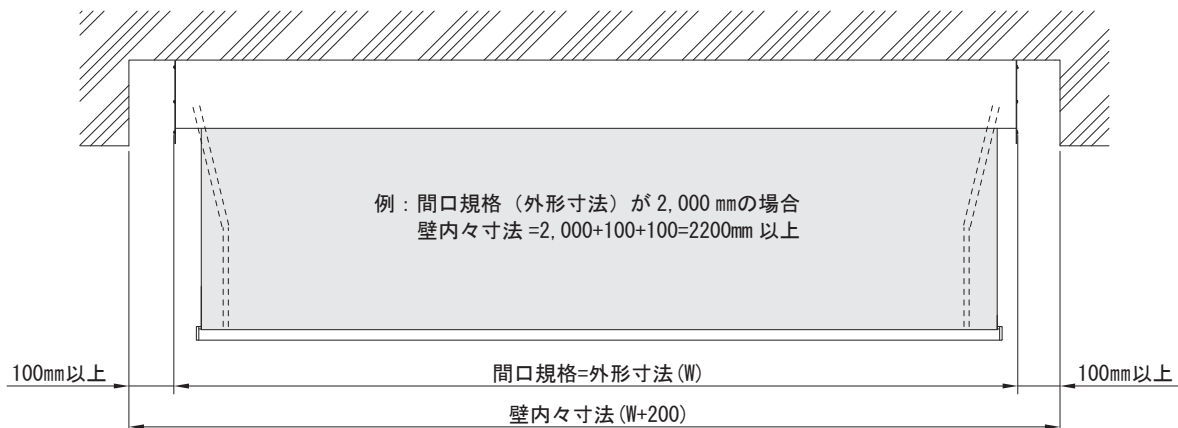
2-3 取付け時の注意

[1] 外形寸法の設定

間口規格は外形寸法 (側板を固定するネジ頭外々) を基準としています。

[袖壁のある壁面等に設置する場合]

袖壁面とケース側板の隙間が 100mm 以上になるように外形寸法を設定して下さい。
 調整、メンテナンス等で現場状況によっては、製品本体の取り外し作業が必要な場合もあります。



[2] 取付け高さ位置の設定

取付け部分の上下に障害物がある場合は、以下のことにご注意下さい。

[上部に障害物がある場合]

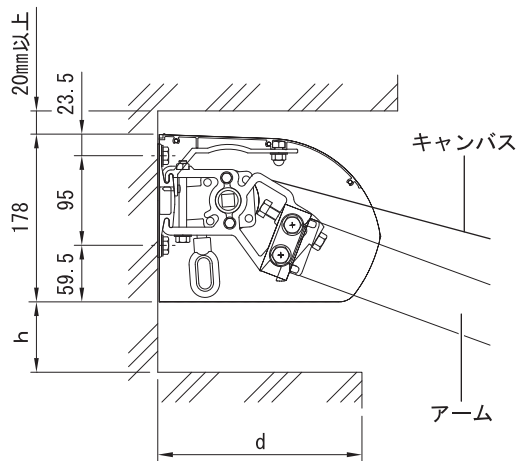
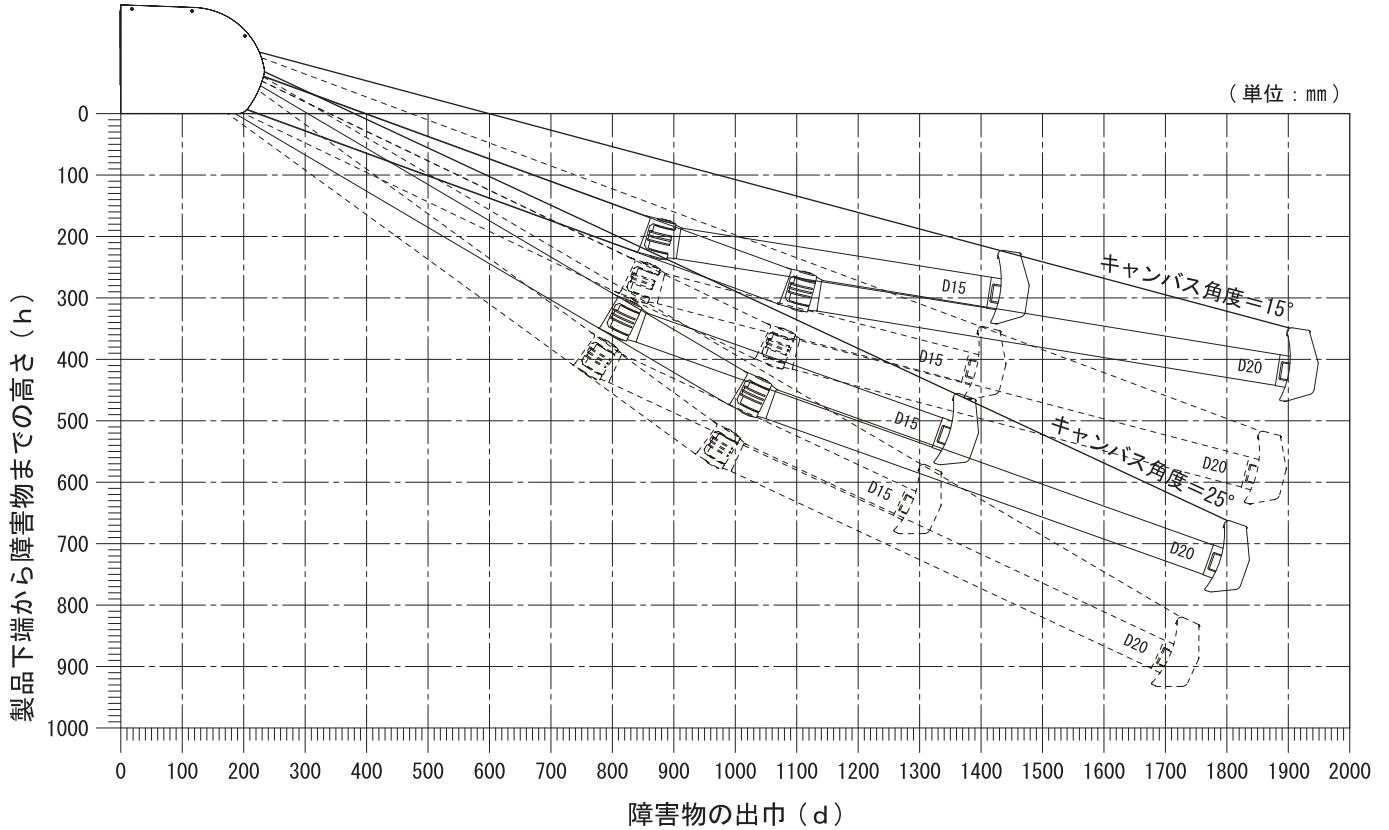
製品上端と障害物下端との間を 20mm 以上確保して下さい。

[下部に障害物がある場合]

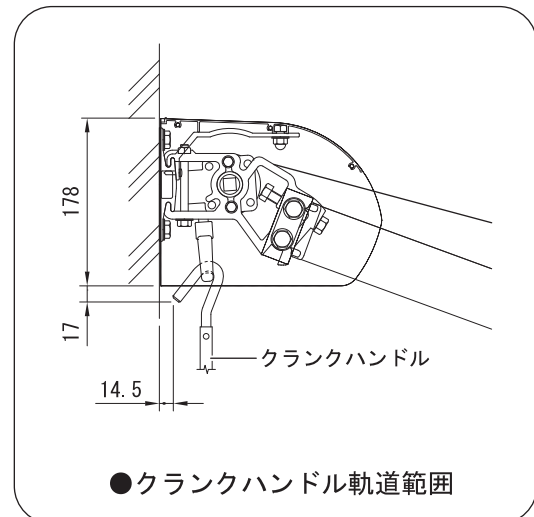
製品下端と障害物上端及び障害物の出巾を下記表を参考に確保して下さい。

※アームの点線は風で吹き下げられた時の位置を表します。

※取付け面の倒れ、キャンバスの重み等によっては、キャンバス角度、各寸法が設定通りにならない場合もあります。



※障害物の出巾 (d) とキャンバス勾配により
高さ寸法 (h) は変わります。



[3] 取付け場所の制限

取付け場所は、一般の戸建て住宅2階、集合住宅2階までを基準として取り付けて下さい。
強風の影響を受けやすい場所への取り付けは、お避け下さい。

3-1 取付けの準備

[重要] ベースプレートは平坦で凹凸のない面に取付けて下さい。またベースプレート裏面全てが接地面と密着するようにして下さい。

※アンカーを使用する場合は安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい。

※木造の柱は10年以上維持できる十分な強度があり、100角以上の材料（松、楓、檜等）とし、コーチボルトを50mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。（付属のコーチボルトで長さが足りない場合は、別途ご用意下さい。）

[1] 墨出し

部材寸法に注意し、ベースプレートのレベル、通りを墨出してベースプレートの穴位置をけがいて下さい。

[2] 下穴あけ

構造体及び締結部品を確認の上、適した下穴あけを行って下さい。

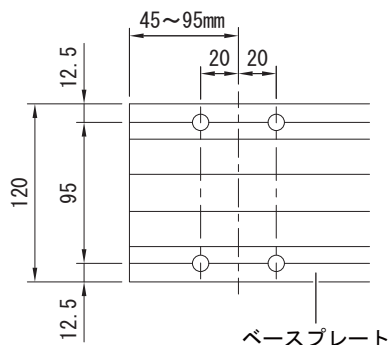
[3] ベースプレートの穴あけ

ベースプレートの端部から下記範囲内に締結部品用の穴をあけて下さい。

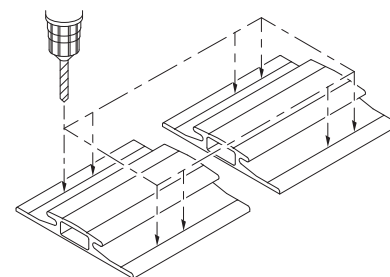
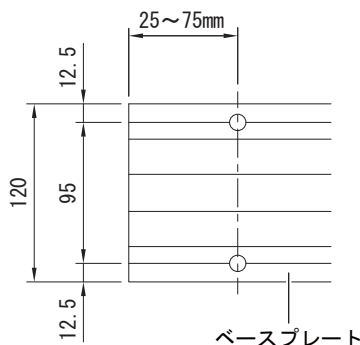
締結部品一覧表（参考）

躯体	品種	サイズ	下穴径
木造	コーチねじ	φ8×100	φ5.5
RC造打放し	グリップアンカー	M10×40	φ14.5
	オールアンカー	M10×80	φ10.5
RC+モルタル等	アジャストアンカー	M10×80	φ15.0

●コーチねじ使用時



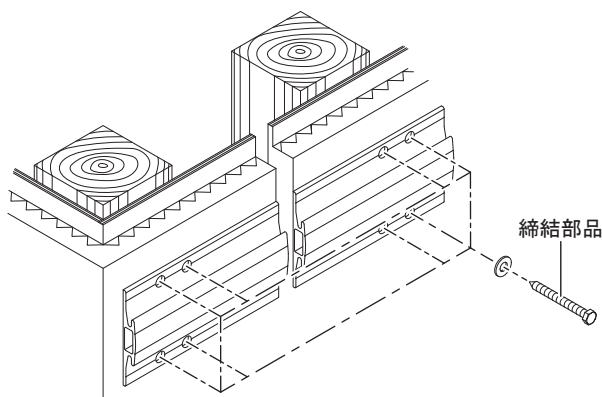
●アンカー使用時



※ドリルで穴あけする時は、下に木材等を敷いて下さい。穴あけ後、バリ取りを行って下さい。

3-2 ベースプレートの取付け

ベースプレートの建物締結用穴は現場に合わせて加工して下さい。



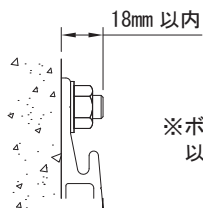
[重要]

※ベースプレートは必ず水平になるように取付けて下さい。

※P2. [1-4 ベースプレート納まり図] を参考に取付位置を決めて固定して下さい。

※締結箇所は必ず上下2ヶ所以上で固定して下さい。

※ベースプレートは重量及び使用に耐えられる構造体に直接取付けて下さい。

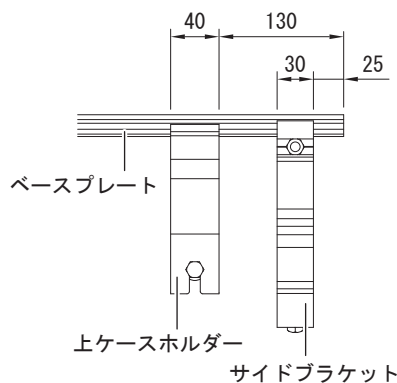
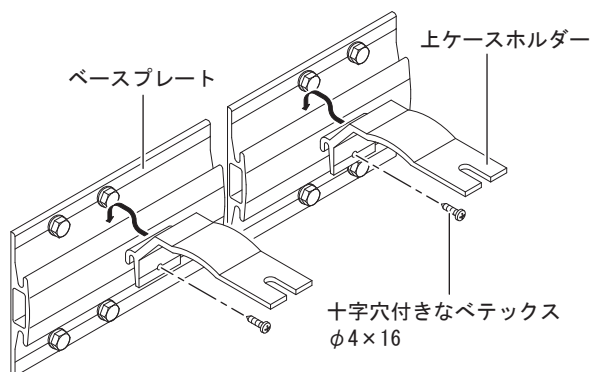


※ボルト出しの場合、ボルト類は18mm以内に納まるようにして下さい。

3-3 上ケースホルダーの取付け

上ケースホルダーをベースプレート上部の溝に引っ掛け、テックスビスで固定します。

※上ケースホルダーは均等になるように取付けて下さい。



規格別上ケースホルダー数量表

間口規格	数量
2,000mm	3
2,500mm	4
3,000mm	4
3,500mm	5
4,000mm	5

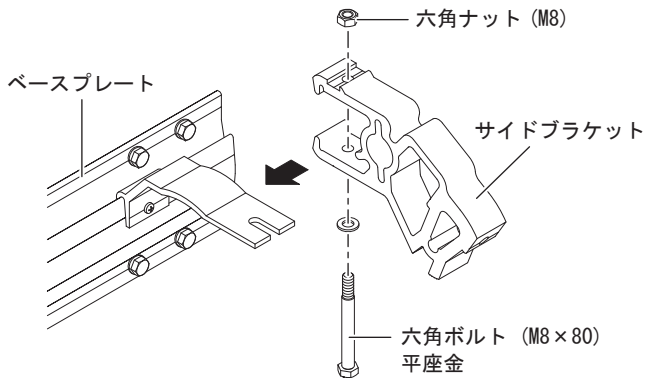
3-4 サイドブラケットの取付け (Fサイド)

●正面より、Dサイド左側の場合です。

サイドブラケットはベースプレートに必ず垂直、または直角に向かい合うように取り付けて下さい。

※サイドブラケットの取付け位置は、P4. [3-3 上ケースホルダーの取付け] を参照して下さい。

※サイドブラケットを斜めに取付けると手動ギアに負荷がかかり回転の妨げの原因となり、ギア本体の破損及び耐久性の低下を招く恐れがあります。



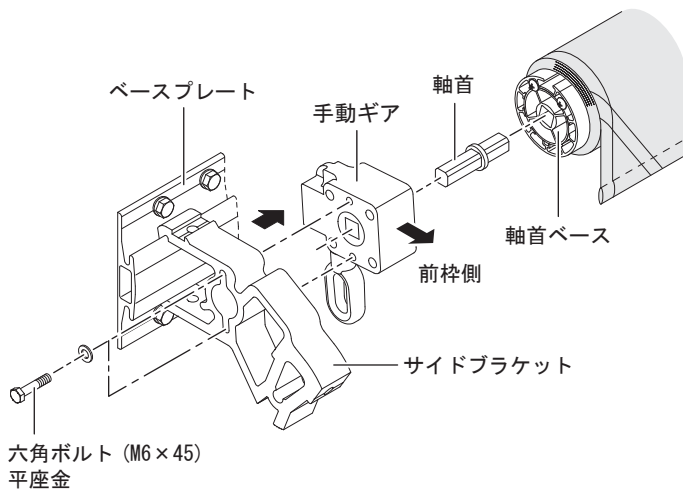
※サイドブラケットがベースプレートに挿入しにくい際は、プラスチックハンマー等で軽く叩き入れて下さい。

3-6 手動ギアの取付け

手動ギアをサイドブラケットへ六角ボルトで固定して下さい。軸首を軸首ベースに挿入し、手動ギアにはめ込んで下さい。

※軸首の長い方が手動ギア側、短い方が軸首ベース側になるように挿入して下さい。

※手動ギアは取付け方向をご確認の上、取付けて下さい。

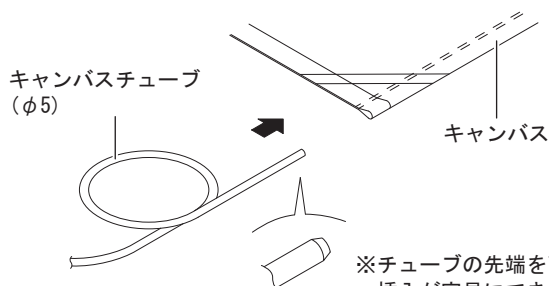


3-8 キャンバスの組み込み

[1] キャンバスチューブの挿入

キャンバスの袋縫い部にキャンバスチューブを挿入して下さい。

※キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切って下さい。

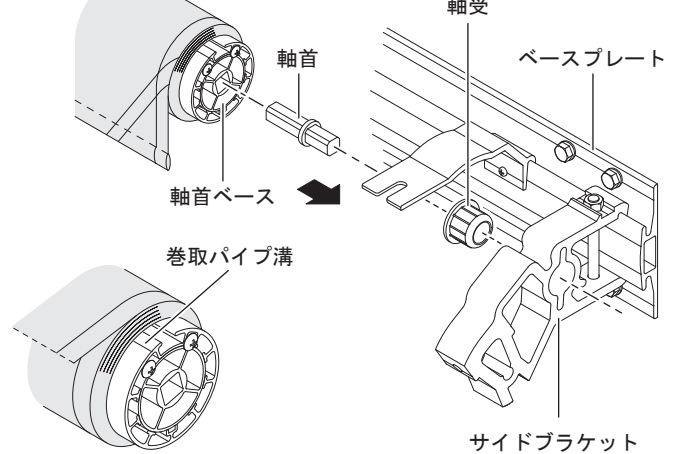


3-5 巻取パイプの取付け

軸受をサイドブラケットにしっかり挿入して下さい。軸首を軸首ベースに挿入し、軸受にはめ込んで下さい。

※軸首の長い方が軸首ベース側、短い方が軸受側になるように挿入して下さい。

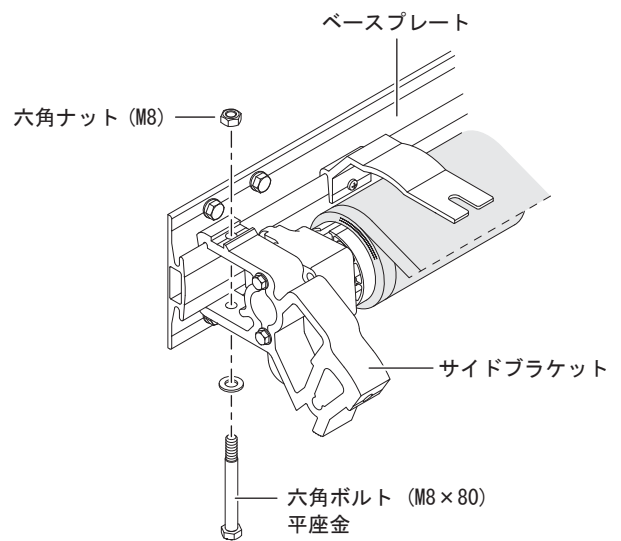
※巻取パイプの溝がある方が張出し側になる様に取付けて下さい。



3-7 サイドブラケットの取付け (Dサイド)

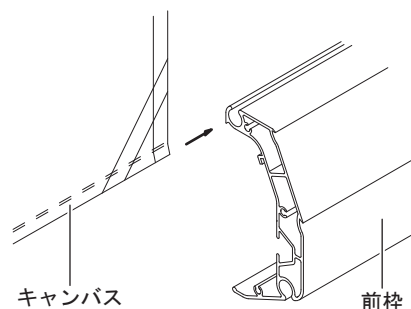
サイドブラケットはベースプレートに必ず垂直、または直角に向かい合うように取り付けて下さい。

※軸首と手動ギアのすき間を1~2mm取って下さい。(Fサイド側で1~2mmのすき間を取ってあれば必要ありません。)



[2] キャンバスの挿入

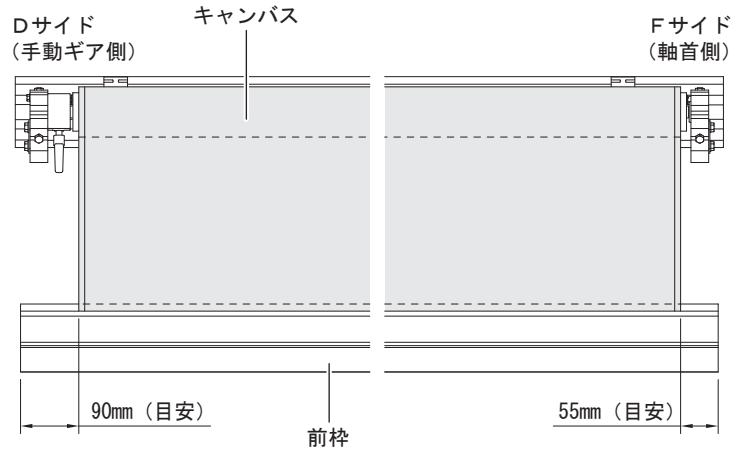
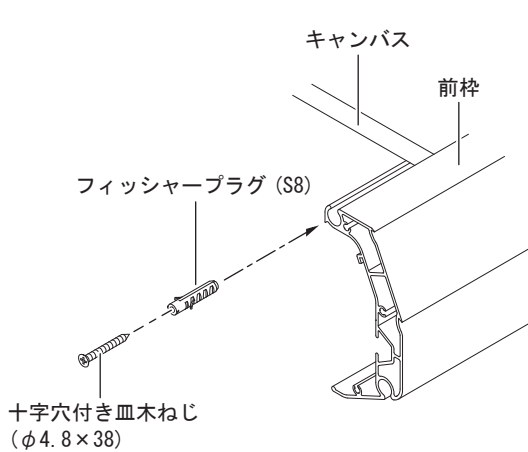
キャンバスチューブがセットされたキャンバスを前枠に挿入します。



[3] キャンバスの固定

左右のチリを合わせフィッシャープラグで固定して下さい。

※キャンバスの左右のチリは前枠の端部より手動ギア側は90mm（目安）、軸首側は55mm（目安）の位置になるように固定して下さい。



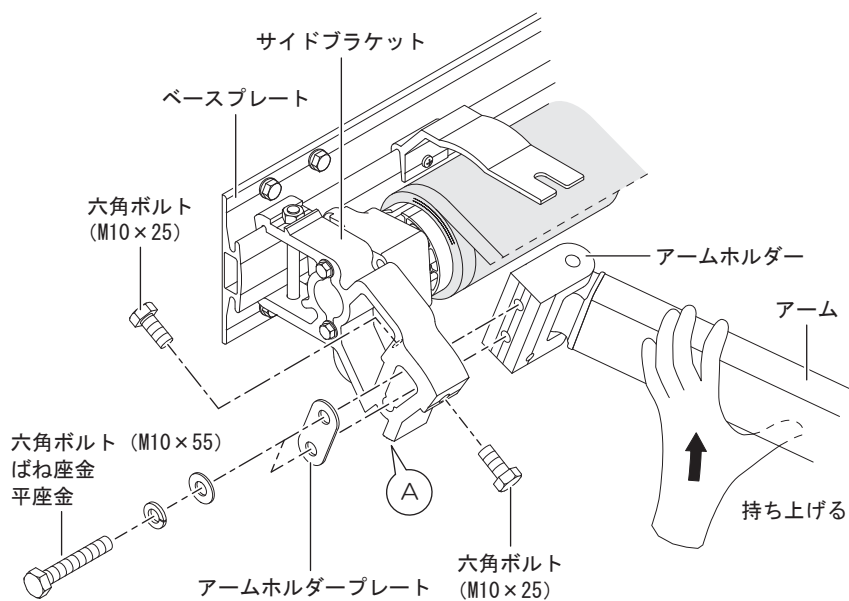
●前枠を収納した状態で前枠キャップと側板とのチリが左右で異なった場合、前枠金具の位置は動かさずにキャンバスの左右のチリで調整して下さい。

3-9 アームの取付け

[1] アームホルダーの取付け

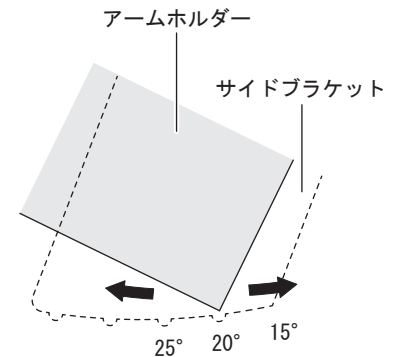
サイドブラケットをアームホルダーとアームホルダープレートで挟み、六角ボルトで締め込んで下さい。

※六角ボルトはアームを持ち上げながら締め込んで下さい。



■ A 部詳細

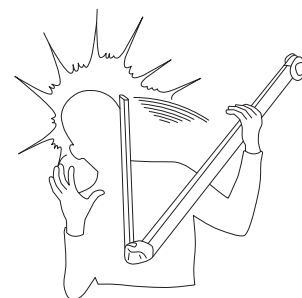
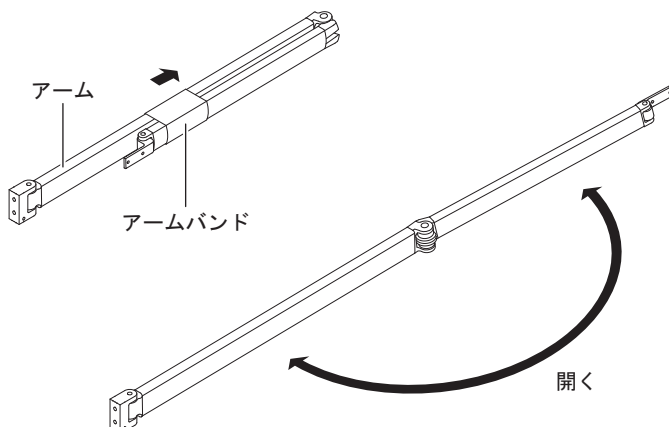
サイドブラケットの突起部にアームホルダーの角部を合わせ、アーム角度を設定する際の目安にして下さい。



※設定可能範囲は15° ~ 25° になります。

[2] アームバンドの取外し

アームをしっかり押さえた状態でアームバンドを外し、伸びた状態にして下さい。



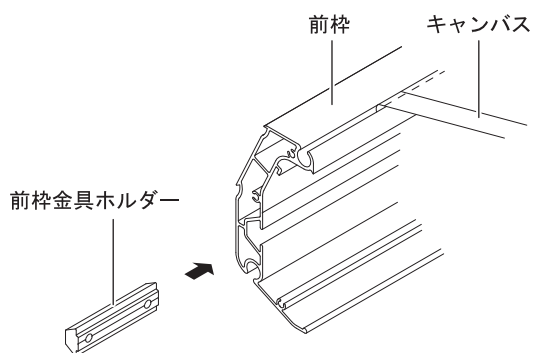
[注意]

アームバンドをはずす時は十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手で押さえて下さい。

3-10 前枠の取付け

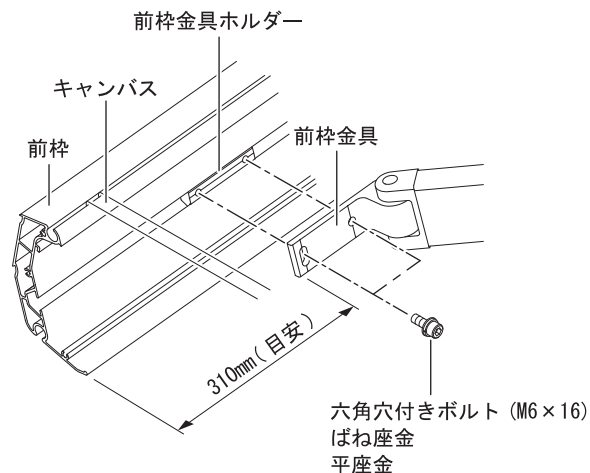
[1] 前枠金具ホルダーの挿入

前枠の溝に前枠金具ホルダーを挿入して下さい。
(反対側も同様に挿入して下さい。)



[2] 前枠金具の取付け

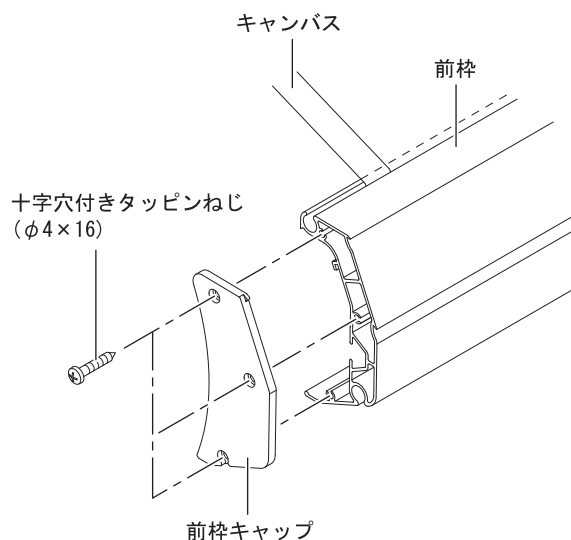
キャンバスを張り出し前枠金具ホルダーと前枠金具を六角穴付きボルトで固定して下さい。
※先に丸穴の方を締め込んで下さい。



※前枠を収納した状態で前枠キャップと側板とのチリが左右で異なった場合、前枠金具の位置は動かさずにキャンバスの左右のチリで調整して下さい。

[3] 前枠キャップの取り付け

前枠キャップを十字穴付きタッピンねじで固定して下さい。



3-11 アーム角度の調整

本体を設置した際、前枠が水平になっていない場合はアーム角度の調整をします。
調整する際は、前枠が下がっている側に合わせて下さい。

[注意]

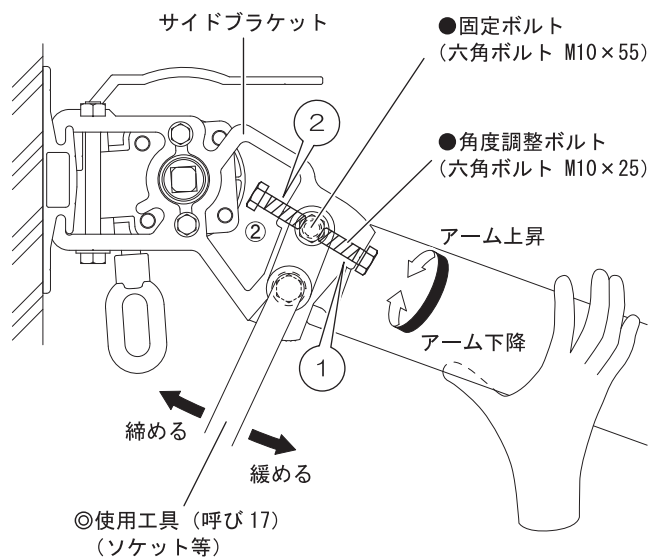
※工具を回す際は、アームを支え（持ち上げ）ながら行って下さい。
※固定ボルト（M10）は確実に締め付けて下さい。締め付けがあまりと破損の原因となります。

[1] 調整の準備

サイドブラケットの固定ボルト（2本）を緩めて下さい。

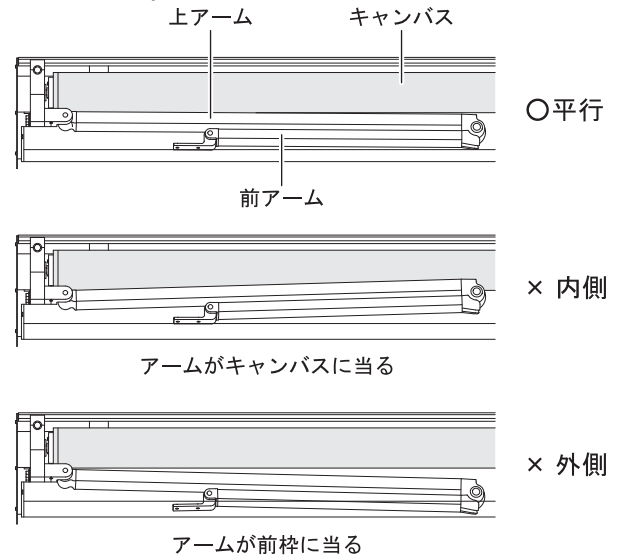
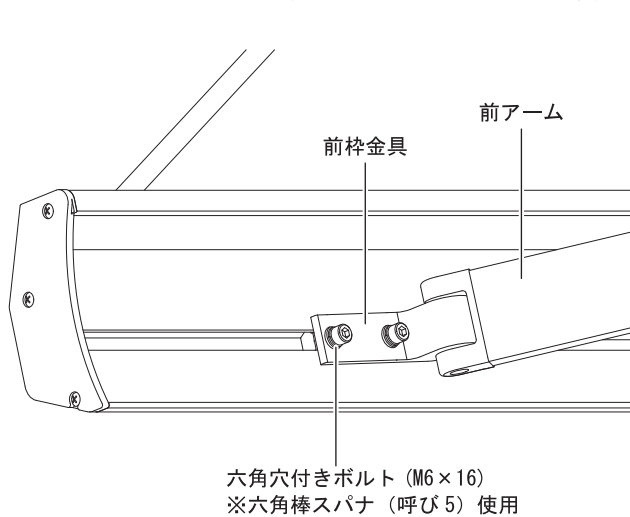
[2] アーム角度の調整方法

正面①の六角ボルトで、アームが下がる方向に微調整をして下さい。前枠の水平を決めた後、後方②の六角ボルトを止まるまでねじ込んで下さい。
調整後、固定ボルトを確実に締め付けて下さい。



3-12 アーム位置の確認と調整

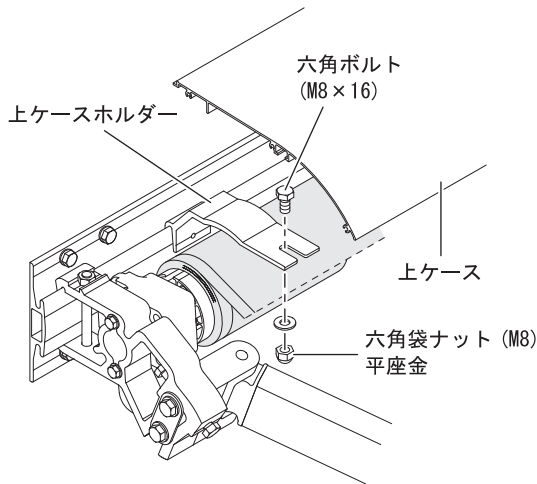
アーム位置の調整又はキャンバスの取り付け・交換等によりアーム位置がズレた場合は、前アーム先端の前枠金具を左右にスライドさせて調整を行って下さい。また、アームの肘の高さが左右で異なる場合、前枠金具及びサイドブラケットが斜めになっていないかを確認し調整してください。



3-13 上ケースの取付け

[1] 上ケースの固定

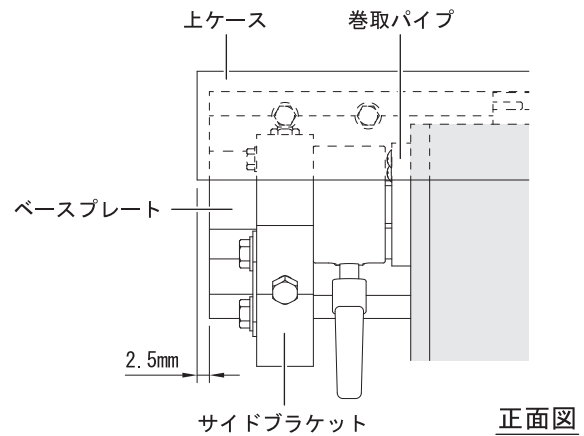
上ケースホルダーに六角ボルトをセットし、袋ナットで固定します。



※上ケースは巻取パイプ及び前枠と平行になるように取付けて下さい。

[2] 上ケースの位置

上ケース端部は、両側ともベースプレートより2.5mm 外側になります。



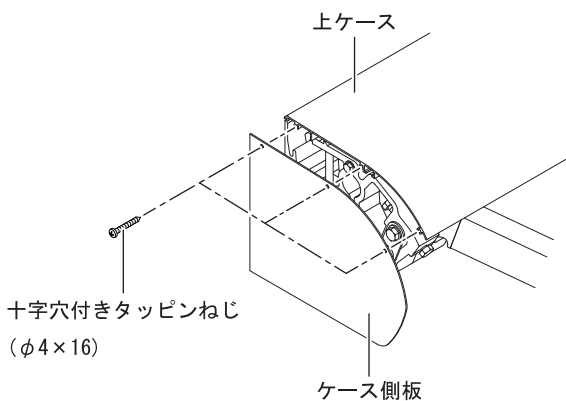
※キャンバスが邪魔で上ケースを固定する袋ナットが取付けにくい場合は、収納されているキャンバスを少し張り出し、手で前枠を壁側に押す事ですき間ができ、作業しやすくなります。

3-14 側板の取付けとコーキング

[1] 側板の取付け

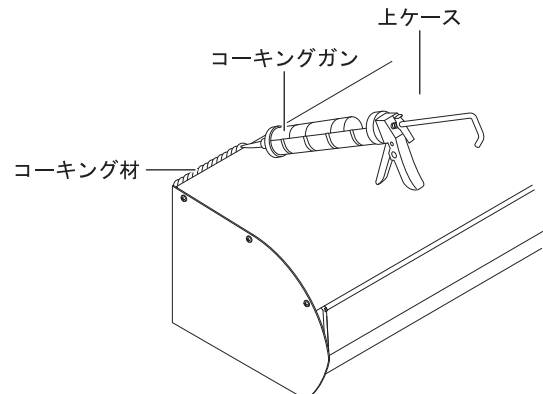
上ケース両側に側板を十字穴付きタッピンねじで固定して下さい。

※ケース側板、前枠の左右のチリを調整して下さい。[P.1-3 平面納まり図]を参照。



[2] コーキング

上ケースと壁面の間をコーキングして下さい。状況に応じ、バックアップ材をご使用下さい。

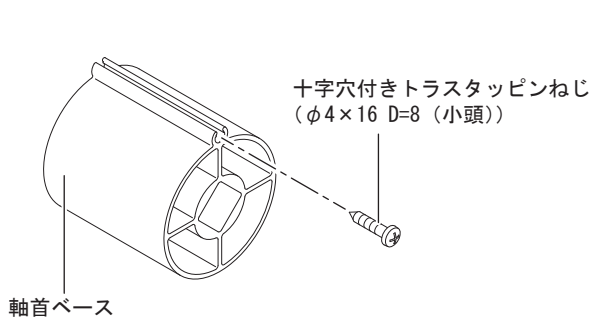


本ページより 10 ページまではメンテナンスを目的とした内容となっております。通常に取り付け方法をご理解して頂いた上でメンテナンス時の資料としてご使用下さい。

4-1 巻取パイプの組込み

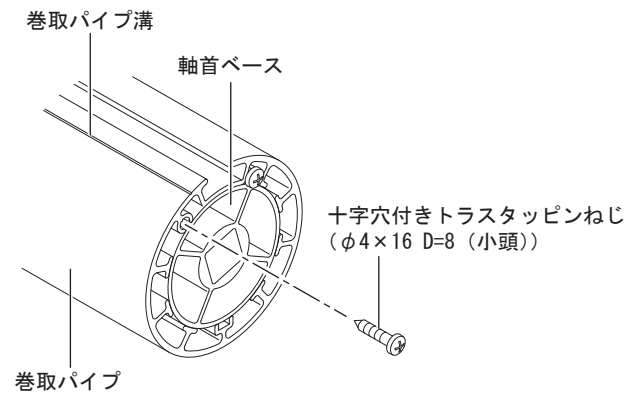
[1] 軸首ベース準備

軸首ベースに十字穴付きトラスタッピンねじを締め込んで下さい。



[2] 軸首ベースの取付け

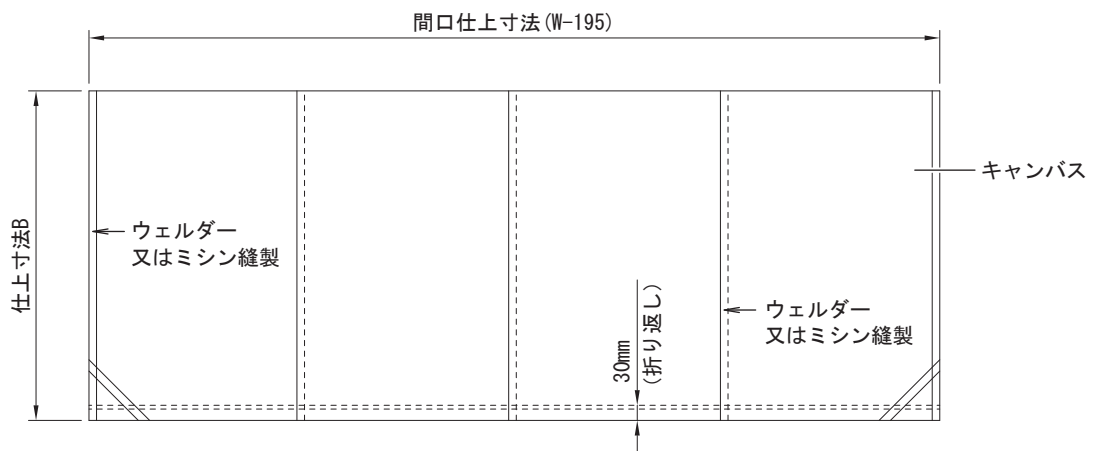
巻取パイプの溝がある方が、張り出し側（前枠側）となる様に軸首ベースを巻取パイプに挿入し、十字穴付きトラスタッピンねじで固定して下さい。



4-2 キャンバスの縫製

[1] ウェルダー／ミシン縫製

ウェルダー及びミシン縫製はツレ・シワが発生しないように注意して下さい。



※補修や補強を行う場合はウェルダー溶着及びミシン縫製と同じ方法で行って下さい。
※キャンバス仕上がり巾は伸びしろを考慮して製作して下さい。

[2] キャンバス寸法表

■ 出巾 (D)

(単位: mm)

出巾 (D)	15アーム	20アーム
裁断寸法	1,830	2,340
仕上寸法B	1,800	2,310

■ 間口 (W)

(単位: mm)

間口 (W)	2000	2500	3000	3500	4000
間口仕上寸法 (W-195)	1,805	2,305	2,805	3,305	3,805

※間口仕上寸法に関しては1ページの平面納まり図を参考にして下さい。

4-3 キャンバスの組込み

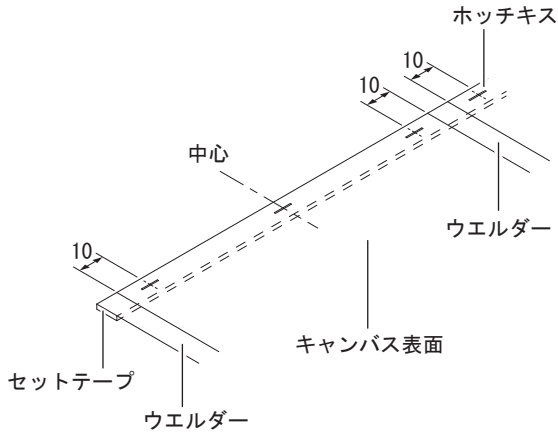
[1] 巻取パイプ側

袋縫い加工されていないキャンバスの裏側にセットテープを貼り付け、ホッチキスで固定して下さい。

※ホッチキスはMAX 中型 三号針相当をご使用下さい。

※ホッチキスはウエルダー部の両サイドとウエルダー部の中心に固定して下さい。

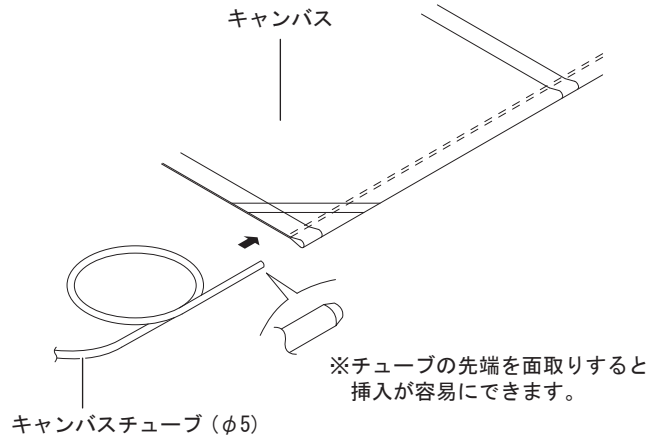
※生地の種類によってはセットテープが張り付きにくい場合があります。その場合は、セットテープが剥がれない様にホッチキスを多く打ってください。



[2] 前枠側

キャンバスの袋縫い加工部に、キャンバスチューブを挿入して下さい。

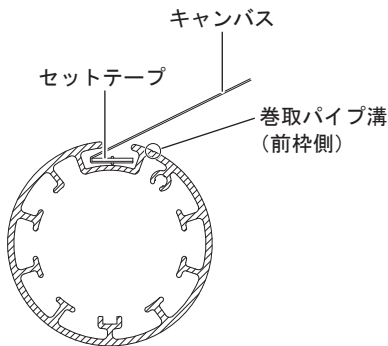
※キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切って下さい。



[3] キャンバスの挿入 (巻取りパイプ側)

セットテープ部をキャンバス裏側方向へ1回折り曲げ、巻取パイプの溝に完全に挿入して下さい。

※巻取パイプの溝がある方を張り出し側 (前枠側) となるように挿入してください。

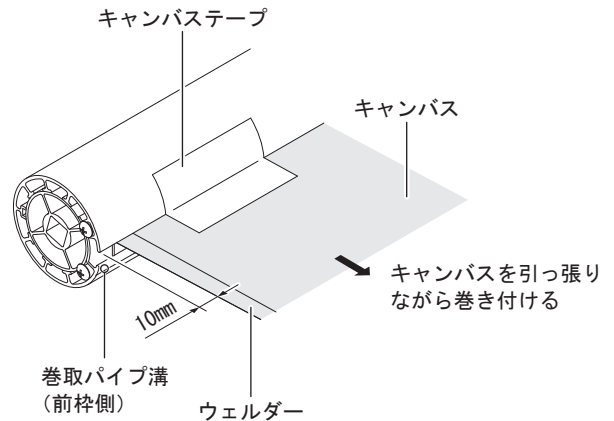


[4] キャンバスの固定と巻き取り

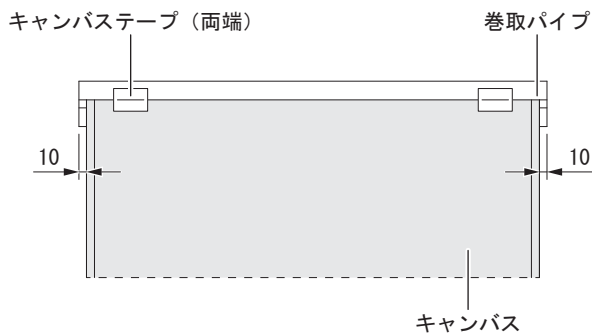
左右のチリ (10mm ずつ) を合わせ、キャンバスの巻き付け方向を確認して下さい。

キャンバスを引っ張りながらウエルダー以外の部分にキャンバステープを貼り付け、巻き付けて下さい。

※キャンバスは緩みのないように巻いて下さい。



[5] キャンバステープ貼付位置



※P5. [3-8 キャンバスの組込み] へ続く

5-1 点検

点検ヶ所	点 検 項 目
ベースプレート	取り付け場所に対して適正な締結部品で固定したか
	ベースプレートは水平に設置したか
	取り付け面の凹凸により、ベースプレートがゆがんでいないか
	ねじの緩み、締め忘れはないか
サイドブラケット	取り付け基準位置は適正か
	左右のサイドブラケットは斜めに取り付いていないか
	ねじの緩み、締め忘れはないか
アーム	サイドブラケットへ適正に固定したか
	キャンバス収納時、アームは巻取パイプ及び前枠と平行に折りたたまれているか
巻取パイプ	キャンバスの左右のチリ（10mm）は合っているか
前枠	前枠金具の位置及びねじの締め付けは確実か
	キャンバスはフィッシャープラグで固定されているか
	キャンバスの左右のチリ（D側：90mm、F側：55mm）は合っているか
	前枠が水平に取り付いているか
	各種シールが適正な位置に貼付してあるか
	キャンバス巻取後、側板とのチリが均等になっているか
上ケース	上ケースの固定ボルトは確実に締め付けたか
	取り付け面（壁面）と上ケースの間にコーキングをしたか
	上ケースホルダーの取付け数量は正しいか
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか
	キャンバスは巻取パイプの上側から巻き取られているか
	側板の固定ビスを確実に締め付けたか
	取り扱いの注意事項を説明し説明書を手渡し、施工完了書にサインを受けたか

BXテンパール株式会社
<http://www.tenpal.co.jp>

☎ 0800-111-1086（フリーコール）

営業所：東京（本社）、横浜、名古屋、大阪、中四国、福岡、鹿児島、仙台

- 改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に掲載されている文章、イラスト、写真の無断転載はお断りします。
- 初版/2014年6月 ●表示内容は2017年8月現在のものです。